



初夢通信

さくらい 甚一
県議会報告

〈主な内容〉

ご挨拶	一	面
一般質問	二面・三	面
新潟県新年度予算	四	面
出陣式のご案内	四	面

平成十九年初の議会報告となりますので、改めまして新年明けましておめでとう御座います。

本年は年明けから大変穏やかな暖かい日が続き、度重なる災害に被災された多くの方々には、過ごしやすい冬となりましたが、その反面不利益を被る業種もあり、また地球温暖化の観点から、夏の水不足も懸念されるこの頃であります。

早いもので平成十五年四月の当選以来、四年の任期が終わろうとしています。この間、地元旧燕市では数多くの選挙と、県においては事故・災害の連続で、正に息づく暇も無いような状態でした。

さて今任期最後の議会、平成十九年度の予算を審議する二月定例会も、二月十九日より開会し、三月二十二日まで活発な議論が交わされています。

私にとりましては今任期六回目の一般質問となりましたが、集大成としてライフワークとも言える、地場産業と農業問題に加え、家庭教育を始めとしての学校教育問題や建設産業問題、高齢者の施設整備などについての一般質問と併せて、新年度予算の重点的なものを報告させていただきます。

平成19年度 当初予算の全体フレーム

一般会計の規模 1兆1768億円

特徴1

被災地の「復旧」から、人と人との、コミュニティ全体の再生に向けた「復興」への取り組みへ。

住宅・生業再建等	194億円 (19.2%)
基盤施設・学校施設等の復旧・耐震補強	237億円 (+ 33.6%)

特徴2

選ばれる新潟県作りを進め、人口の自然減・社会減に対応。(少子化対策等)

安心して子供を産み育てる環境整備	103億円 (+ 3.4%)
住みやすいふるさと作りと暮らしやすさの発信	21億円 (+ 15.3%)
個を伸ばす人づくりの推進	302億円 (+ 2.2%)
安定した雇用の場の創出・確保	49億円 (+ 7.0%)

特徴3

誰もが健康でいきいきと暮らせる福祉・医療サービスの充実。

福祉・医療サービスの充実	770億円 (+ 8.4%)
--------------	----------------

特徴4

安全・安心で魅力ある新潟県作り邁進。

防災立県の推進	56億円 (+ 5.1%)
安全・安心で快適な県民生活の確保	133億円 (+ 43.0%)
食の安全・安心の推進	2億円 (+ 34.7%)
安全で恵み豊かな環境の確保・継承	25億円 (+ 11.3%)
地域の魅力を高める文化・スポーツの振興	46億円 (+ 283.1%)



二月定例会初日は知事が和装で出席する慣例です。

特徴5

付加価値創造の観点から、県経済を持続発展させる取り組みの進め。

成長分野と本県の「強み」を活かした産業の振興	28億円 (+ 3.5%)
働く場の積極的創造と産業人材の育成・確保	22億円 (+ 11.8%)
拠点性の向上と交通インフラ整備	4.7億円 (+ 110.3%)
多様な観光資源を活かし地域が主体となった観光の展開	6.3億円 (+ 34.3%)
ブランド化戦略	6.3億円 (+ 14.5%)
農山漁村の多面的機能の発揮	57億円 (+ 12.1%)

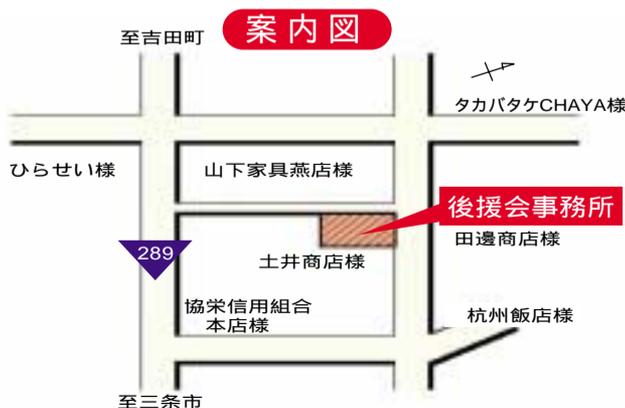
特徴6

「効率的な政府」の実現のため「選択と集中」を一層進める。

事務の合理化・効率化による職員給与等の減	27億円
政令市への事務移譲	153億円
「選択と集中」によるスリム化・効率化の推進	53億円

必勝出陣式のご案内

日時...3月30日(金) 午前9時30分
会場...燕市杉木1542番地(旧ゲームセンター)



さて、私に取りましても他人事でなく、いよいよ四月の改選に向け、これからはエンジン全開となりますが、今改選から選挙区と定数が大きく変わる事となり、今更ながらに事の大きさに戸惑うことの日々です。しかし多くの方々の期待と付託の大きさに身の引き締まる緊張の毎日でもあり、更なる重責を果たす決意を尚一層強くいたしております。つきましては改選に向けて、**必勝出陣式**を次のとおり行いますので、多くの方からご出席を賜り、激励をいただければ幸いに存じます。尚、ご案内もれもあるうかと思われるので友人知人お誘い合わせておいでください。

あとがき

災害から復旧・復興から県民生活の安全・安心への投資への、大事な予算案を審議する議会とあつて、二月定例会は年四回開催される定例会の中で期間も一番長い議会です。その議会も今任期最後とあつて、改選を控え常に慌ただしい方、或いは勇退を決断されて泰然自若の中にもどこことなく寂しそうな方々様々な人生模様が漂うような議会でもありました。



通信

平成19年度

桜井甚一 県議会報告



新潟県議会議員
桜井 甚一 事務所

〒959-1226 燕市小牧572 株マテック内
TEL 0256-66-3300 FAX 0256-66-3301

— 主な議会歴 —

- | | |
|------------|------|
| 産業経済常任委員会 | 副委員長 |
| 議会図書館運営委員会 | 副委員長 |
| 建設公安常任委員会 | 副委員長 |
| 厚生環境常任委員会 | 副委員長 |

1 挨拶

あつという間の一年でありましたが、近年災害が続いていた本県にとつては、今年こそは平穏な年であることを願わずにはいられませんでした。

しかし四月の改選を迎える私たちにとりましては、慌ただしい年の幕開けでもありました。

おかげさまで、選挙区の変更・定数の大幅削減の中、大変多くのご支援を賜り、再び県政の場で仕事をさせて頂くことになりました。現職とあつて、投票日の翌日から地域や県政の課題について、忙しい日々の中、七月十六日にはまさかの中越沖地震が発生し、その為世界最大級の原子力発電所が停止し、その他未だ復興途上にある数々の災害の対応に追われる毎日でありました。

その様な一年を振り返り、昨年度に続いて県議会報告を発行させて頂くことといたしました。



二月定例会の初日は知事は県内の地場産業の繊維振興の為に紋付羽織袴で出席します。



二期目は議場の席が変わりました

一期目は最前列の左から六番目

二期目は前から二列目の左から三番目

平成十九年六月定例会 (6/20～7/6)

医療・福祉問題をはじめ、産業振興、地域整備、交通改築などに幅広い議論を展開。
来年のサミット労働大臣会合の新潟開催の推進経費を含む総額一、六四六万円を増額する一般会計補正予算を可決。

平成十九年九月定例会 (9/25～10/12)

中越沖地震の早期復旧・復興に要する経費を含む総額一、六七五億円を増額する一般会計補正予算を可決。
「新潟・福岡線」の継続運航を求める決議を全会一致で可決し関係機関に送付。



中越沖地震発生(7/16)原発を視察



泉田知事「磨き屋一番館」視察



参議院選挙の応援



入場行進 前列ブレザー姿 左から四人目

秋田国体に
本県選手団役員として
開会式に参加



ブラカード嬢と



21年ときめき新潟国体について
委員会にて当局に質問



空手会場にて

平成十九年十二月定例会 (12/5~12/21)

中越地震の被災者支援に要する経費を含む総額二〇億一千万円を増額する一般会計補正予算を可決。
平成十八年度企業会計及び普通会計の決算を認定・可決。



一般質問要旨と主なもの

- 産業問題について**
- Q** 知事就任以来の企業誘致とその成果を問う。
- A** 県営団地の立地六四件、面積六九・七h、企業訪問数は延べ四、三八六社、常用雇用者数は約二、一〇〇人。
- Q** 本県の技術・製品の為の展示会の効果及び成果を問う。
- A** 十八年度のNICOが実施・参加は費用三、二〇〇万円に對して商談成立総額九、五〇〇万円。又十六、十七年度実施の県外大

- 手・グループとの技術力紹介では二億六、五〇〇万円と有効な取り組みと考える。**
- Q** 更なる企業誘致に向けてのインフラ整備を含めた新たな施策を問う。
- A** 企業ニーズや地域経済のメリツトを踏まえ、必要に応じた整備を検討し、更に各種のメリツトを活用して誘致活動を推進していく。
- 自殺問題について**
- Q** 本県の自殺の現状と原因を問う。
- A** 十八年は七三八人、自殺率は全国七位、内男五二二人、女二一六人。年代別では五〇代が最多で、四〇、七〇代の順。原因別では健康、経済・生活、家庭問題の順。
- Q** 自殺率が足踏み状態にある本県の取り組みを問う。
- A** 対策推進協議会に救急医療の専門家も参加、全県的な取り組みや遺族支援の為の人材育成など更に充実・強化を図る。

- 医療問題について**
- Q** 全国人口一〇万人当たりワースト六位の本県医師数の要因を問う。
- A** 都道府県間での医学部定員の不均衡が主たる要因であるが、その他生活の利便性や教育環境・医師の専門医志向や大病院志向が影響し、都市部への流失と考える。
- Q** 医療圏域により著しい医師数の格差の現状と要因を問う。
- A** 人口一〇万人当たり新潟二三八人・中越一六三人・上越一五三人・下越一四〇人・佐渡一三六人・県央一三一人・魚沼一二四人の順となり、生活の利便性、教育環境及び開業の際の経営面などから新潟市に集中していると考える。
- Q** 圏域別の救急搬送時間と圏域外搬送率を問う。
- A** 搬送時間は県平均三四・二分に對して長い順に佐渡三九・三分、県央三七・一分、上越三五・二分。圏域外搬送率は高い順に県央二三・五%、魚沼九・〇%、下越五・三%。
- Q** 県央地域の救急医療の現状認識を問う。
- A** 患者の状態に応じた一定の体制は確保されているが、疾病によつては他圏域への搬送割合が高く、初期救急医療体制の拡充や二次救急医療を担う病院との連



ステンレス高騰問題について
日新製鋼周南事業所へ視察

- 携強化により、域内の完結性や病院の負担軽減の検討の必要がある。
- Q** 県央二県立病院の赤字の要因と今後の経営改善を問う。
- A** 勤務医の開業による医師不足や周辺地域の診療機関の機能充実等からの患者数の減少が主要因。今後は患者確保に努めると共に圏内での役割分担や連携を進める。
- Q** 県央地域の高度医療の充実について問う。
- A** 三条地域振興局が中心になり、初期医療体制の拡充や医療機関の連携強化、既存医療機関の再編成を含めた検討などの調整を支援していく。
- Q** 地域医師会が開設する休日夜間救急センターへの県の対応を問う。
- A** 地元協議の推移を見ながら必要な支援を検討する。

平成二十年二月定例会 (2/18～3/19)

平成二十年度予算決定、
前年比〇・五%増の総額一、一八二、七五二百万円
重点事業

- ① 中越沖地震及び中越大震災からの「復旧・復興」
 - ② 少子化・人口減対策
 - ③ 県内産業の振興
 - ④ 地域医療の確保
- 泉田知事二期目出馬宣言
冬季風浪被害発生



冬季風浪被害に見舞われた佐渡へ
議会の合間を縫って被害状況を
視察



県央地域にも重要な課題である救
命救急センターについて、全国的
にも数少ない独立型の救命救急セ
ンターの千葉県救急医療センター
を視察



吉田地区田んぼアート参加



燕市民祭民謡流し

地元行事



川前桜まつり

あとがき

二十年度の新潟県は、中越沖地震や冬季風浪被害からの復旧を最優先に、本県の抱える人口の減少、とりわけ若者の県外流出・医療水準の低下・産業振興や活力の維持向上の為の北東アジアの拠点化等々の課題への対応も急がなければなりません。

その他五月のG8岩相サミット、八月の全国豊かな海作り大会といった、大きなイベントも開催されますので是非成功させなければなりません。更には十月の知事選挙や、来年開催される二巡目国体の成功に向けての準備もあり、相変わらず忙しい毎日となりますが、皆様方からのご期待にお応えすべく一生懸命頑張りますので、今後ともご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。